2027年３月期　中間期　決算説明会

2026年11月20日

未来工業株式会社

証券コード：7931

1. 当社グループについて

2027年3月期　中間期

2. 決算ハイライト

3. セグメント別業績

2027年3月期　通期

4. 2027年３月期　業績予想

企業理念

当社グループの企業理念

「常に考える」



ユーザーの使い易い製品を提供

- 絶え間ない新製品の開発
- ユーザーへの迅速な対応
- 社員の自主性・創造性の重視
- 地域社会への貢献

当社グループ各社の基盤強化

- 当社を中心とした経営の効率化
- 各グループ企業の独自性を生かした経営による継続的な成長と収益の拡大

企業価値の最大化

事業領域（セグメント）

	製品・事業内容	提供価値・強み
電材及び管材事業 売上比率 76.0%	・電線管類及び附属品 ・配線ボックス類 ・給水給湯用樹脂管類及び附属品 等	・人手不足が深刻化する建築工事現場の**省力化**に貢献する**アイデア製品** ・**「他社と同じモノは作らない」**、徹底した差別化と付加価値の高いモノづくり ・配線ボックス類や電線管類等の**高い市場占有率**を誇る製品群
配線器具事業 売上比率 17.6%	・スイッチ、コンセント　等	・高い**意匠性**とユーザーニーズを捉えた製品ラインナップ ・施工業者の**省力化**を図る現場バックアップ体制 ・当該分野をリードする**次代の提案**
その他の事業 売上比率 6.4%	・省力化機械及び樹脂成形用金型、運送、建設、樹脂原料、電気通信、ケーブルテレビ　等	

※2026年3月期

1. 当社グループについて

2027年3月期　中間期

2. 決算ハイライト

3. セグメント別業績

2027年3月期　通期

4. 2027年３月期　業績予想

決算ハイライト

売上高、営業利益、経常利益、中間純利益ともに過去最高額を更新

2027年3月期 中間期　決算概要

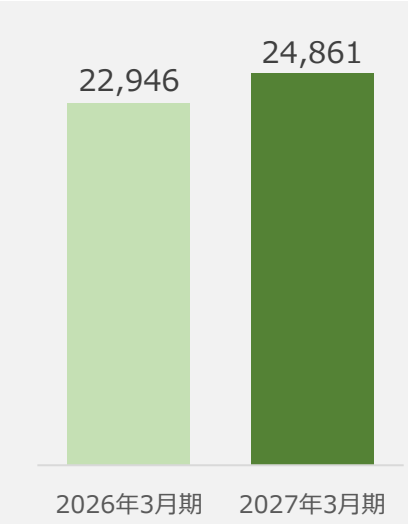
■**増収要因**：中東情勢の影響により第１四半期に「電材及び管材」の一部製品を前倒しで調達する動きや供給制約を背景とした代替需要が発生
「電材及び管材」、「配線器具」の一部製品における価格改定の浸透

■**増益要因**：原材料単価の上昇や外注加工費の増加等があったものの、増収効果等により増益

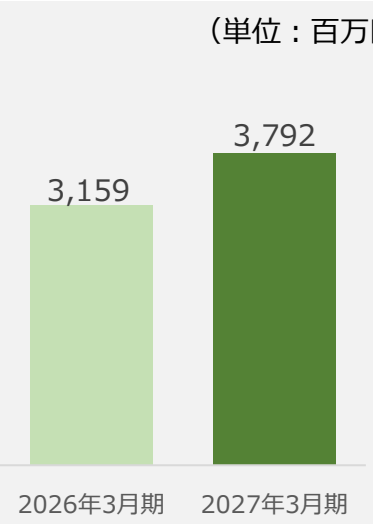
■**通期業績予想**：変更有り（次頁参照）

売上高	過去最高 248億61百万円	対前年比（+8.3%）
営業利益	過去最高 37億92百万円	対前年比（+20.0%）
経常利益	過去最高 39億25百万円	対前年比（+20.7%）
中間純利益	過去最高 26億46百万円	対前年比（+20.5%）

■売上高（中間期）



■営業利益（中間期）



業績予想の修正

2027年３月期通期の連結業績について、（前期比）増収・減益予想から増収・増益予想に上方修正

修正の理由

■**売上高** ↗ ：第１四半期の状況を踏まえ、第２四半期以降は反動減を想定していたが、業績が底堅く推移しており前回予想を上回る見通しのため

■**営業利益、経常利益、当期純利益** ↗ ：原材料単価の上昇等が見込まれるものの、価格改定等による増収効果等により前回予想を上回る見通しのため

（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益[円]
前回発表予想 （A）	48,530	6,232	6,398	4,342	268.54
今回修正予想 （B）	48,984	6,927	7,125	4,755	293.91
増減額 （B－A）	454	694	727	412	－
増減率（%）	0.9	11.1	11.4	9.5	－
前年実績（2026年３月期）	45,673	6,723	6,899	4,696	290.73

※今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

連結経営成績

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 実績	増減率	2027年3月期 通期 予想（10月23日開示）	進捗率
売上高	22,946	24,861	+8.3%	48,984	50.8%
営業利益	3,159	3,792	+20.0%	6,927	54.7%
同率	13.8%	15.3%	+1.5pt	14.1%	–
経常利益	3,252	3,925	+20.7%	7,125	55.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,195	2,646	+20.5%	4,755	55.6%

1. 当社グループについて

2027年3月期　中間期

2. 決算ハイライト

3. セグメント別業績

2027年3月期　通期

4. 2027年３月期　業績予想

セグメント別業績：電材及び管材

電材及び管材

■**増収要因**：施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキＳＳ」等が堅調に推移、耐候性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキＭＦ」や硬質ビニル電線管「Ｊ管」等が増加、また、一部製品の価格改定が浸透したこと等により増収

■**増益要因**：原材料単価の上昇や外注加工費の増加等があったものの、増収効果等により増益

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 実績	増減率
売上高	17,559	19,033	+8.4%
営業利益	2,797	3,493	+24.9%



セグメント別業績：配線器具、その他

配線器具

■**増収要因**：デザインを一新した「Ｊ・ワイドスリムスクエア」等の配線器具が堅調に推移、一部製品の価格改定が浸透したこと等により増収

■**増益要因**：原材料単価の上昇等があったものの、増収効果等により増益

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 実績	増減率
売上高	3,875	4,325	＋11.6%
営業利益	399	430	＋7.9%



その他

インターネットサービス等を提供する「電気通信」等が増収となったものの「省力化機械及び樹脂成形用金型」等が減収、外注加工費の増加等により減益

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 実績	増減率
売上高	1,511	1,501	▲0.6%
営業利益	378	310	▲17.9%



連結経営成績（セグメント別一覧）

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 実績	増減率	2027年3月期 通期 予想（10月23日開示）	進捗率
売上高	22,946	24,861	+8.3%	48,984	50.8%
電材及び管材	17,559	19,033	+8.4%	37,043	51.4%
配線器具	3,875	4,325	+11.6%	8,658	50.0%
その他	1,511	1,501	▲0.6%	3,283	45.7%
営業利益（調整後）	3,159	3,792	+20.0%	6,927	54.7%
電材及び管材	2,797	3,493	+24.9%	6,317	55.3%
配線器具	399	430	+7.9%	817	52.7%
その他	378	310	▲17.9%	591	52.6%

1. 当社グループについて

2027年3月期　中間期

2. 決算ハイライト

3. セグメント別業績

2027年3月期　通期

4. 2027年３月期　業績予想

2027年３月期　通期業績予想

上期は中東情勢の影響による一時的な需要増や一部製品における価格改定の浸透等により前年同期比で増収・増益となったが、
下期は価格改定等により増収が見込まれる一方、原材料単価の上昇等により減益となる見込み（**通期**では増収・増益の見込み）

【連結】

（単位：百万円）

	2026年3月期 通期 実績	2027年3月期 通期 予想	増減率
売上高	45,673	48,984	+7.2%
営業利益	6,723	6,927	+3.0%
同率	14.7%	14.1%	▲0.6pt
経常利益	6,899	7,125	+3.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,696	4,755	+1.2%

【セグメント別】

（単位：百万円）

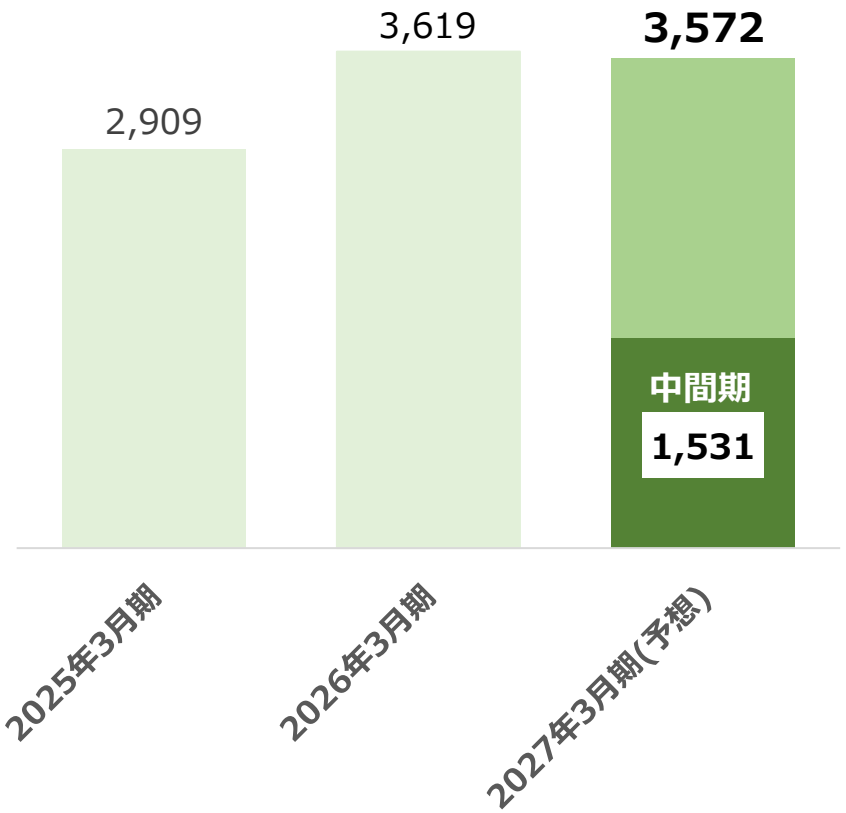
	2026年3月期 通期 実績	2027年3月期 通期 予想	増減率
売上高	45,673	48,984	+7.2%
電材及び管材	34,733	37,043	+6.7%
配線器具	8,037	8,658	+7.7%
その他	2,902	3,283	+13.1%
営業利益（調整後）	6,723	6,927	+3.0%
電材及び管材	5,993	6,317	+5.4%
配線器具	872	817	▲6.3%
その他	711	591	▲16.9%

設備投資額及び減価償却費

（電材及び管材）熊本工場の製品倉庫の自動化、山形工場の製品倉庫の新設等を実施予定
（電材及び管材）前期に設備投資を行った大垣工場及び茨城工場の自動倉庫の稼働開始等により減価償却費が増加

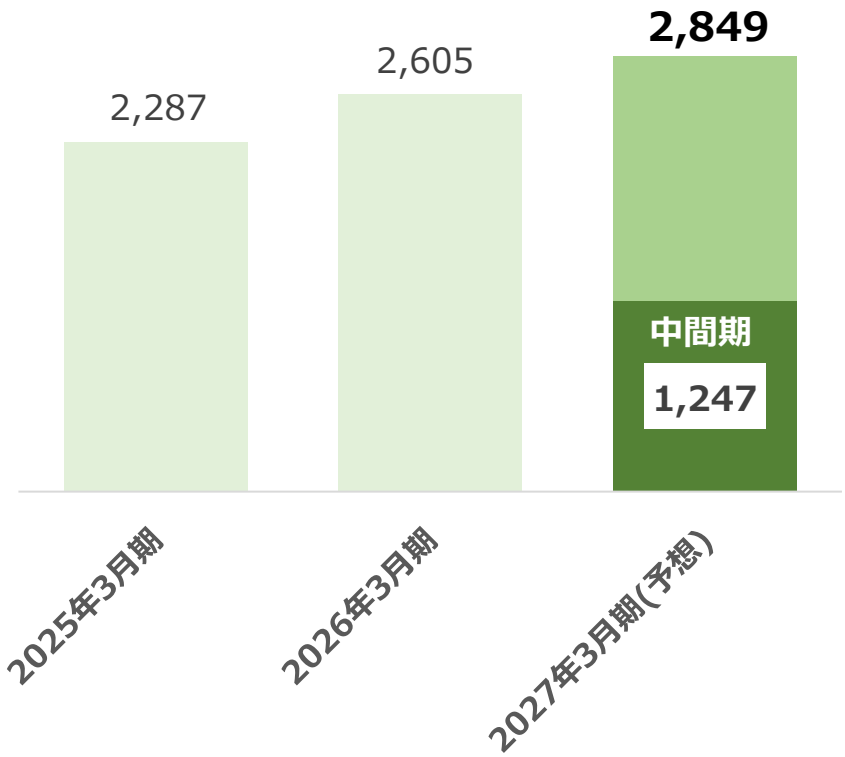
設備投資額

（単位：百万円）



減価償却費

（単位：百万円）



本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づき作成したものです。
実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。

お問い合せ先

未来工業株式会社　総合企画部

電話番号　0584-68-1200